

2009年度

科目名	コミュニケーション心理学		
担当教員	井上 徹		
配当	人社1	コード	23820
開期	後期	講時	火曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	インターパーソナル・コミュニケーションを考える。		
目的と概要	コミュニケーションは、人と人が理解しあうための第一歩です。このコミュニケーションを心理学の立場から考えていくことが本講義の目的です。コミュニケーションの基本的要素を取り上げ、「ことば」の発達についてみます。また異文化間コミュニケーションにおける問題についても取り上げます。		
成績評価法	授業中のミニレポート(30%) + 学期末テスト(70%)		
テキスト			
参考書	深田博己 インターパーソナル・コミュニケーション 北大路書房 1998		
履修に当たっての注意・助言	コミュニケーションを知識として理解するだけでなく、身近な問題として振り返ってください。		
講義計画			
1 コミュニケーション・モデル(1) コミュニケーション、その概念、意味、基本原理など。 2 コミュニケーション・モデル(2) 送り手、メッセージ、受け手の役割  3 言語的コミュニケーション(1) 子どもの発達とコミュニケーション 言葉と意志動作 4 言語的コミュニケーション(2) 敬語の使い方 5 言語的コミュニケーション(3) 異文化コミュニケーション  6 非言語的コミュニケーション(1) 表情・感情の伝達 表情の研究はダーウィンから 7 非言語的コミュニケーション(2) アイコンタクト 目は口ほどにものを言い 8 非言語的コミュニケーション(3) パーソナル・スペースとコミュニケーション  9 対人コミュニケーション(1) 自己開示とジョハリの窓 10 対人コミュニケーション(2) 自己開示と対人関係、リスク管理 11 対人コミュニケーション(3) 「演出」して自分を出す自己呈示  12 人を欺くコミュニケーション(1) 嘘、欺瞞 13 人を欺くコミュニケーション(2) 悪徳商法 14 人を欺くコミュニケーション(3) マインド・コントロール  15 全体のまとめ			